

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	4-3	経営健全化の方針
--------------	-----	----------

基本施策	6	企業債利息等の縮減
------	---	-----------

基本施策目標
<p>企業債は、下水道整備にかかる多額の費用を現世代のみの負担とせず、後世代にも負担していただく「負担の平準化」を原則としています。企業債発行額の抑制や低利率に借り換えるなど、企業債利息等の縮減に努めます。</p>

課題名	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 企業債利息等の縮減	<p>〔概要〕 企業債発行額の抑制や借換えによる利息の軽減に努める。</p> <p>〔目標〕 企業債発行額の抑制や低利率に借り換えるなど、企業債利息等の縮減に努める。</p>	<p>平成25年度決算での支払利息は2,053,278千円で平成24年度の支払利息2,198,729千円と比べ145,451千円減少した。また、企業債は、2,120,200千円新規発行し、5,974,860千円の償還を行ったことにより企業債等残高は、81,687,870千円となった。</p>	A

基本施策 総合評価	A
-----------	---

<p>評価結果の説明等</p> <p>借換債の発行や水道事業会計からの借入による高利率の借入金返済により、企業債利息が縮小したことから評価をAとした。</p>

<p>今後の取り組みの方向性・展開方針</p> <p>供用開始から50年が過ぎ、これまで整備してきた各施設の更新時期を迎え、事業費の増加が懸念されるところであるが、優先順位の明確化や更新計画の策定により、発行額の増加を招くことのないよう事業と経営のバランスを図っていく。</p>
